



—平成27年度 成人式—

わかもの  
これから実をつける若木たち



松川町公民館報 第623号

成人式実行委員長 杉山恵菜さんの主張は8ページにあります

館報  
まつかわ



お箏を  
弾いて  
みましょう



# 日講座

パンダ  
子パンダ



する新しい公民館に、これまで以上に多くの願っています。また、団塊の世代の方々を仲間と一緒に楽しく学んだり、活動してほしいきっかけづくりとして新しく「1日体験講座」

に、6つの体験講座が開かれました。また9月いき「魅力ある水彩画」の2つの講座が開かれました。なかには、もう少し学びたいに講座を開かれています。日体験講座を開く予定です。仲間と一緒に活ありましたら、中央公民館(電話36-2633)ま



囲碁をはじめて  
みませんか





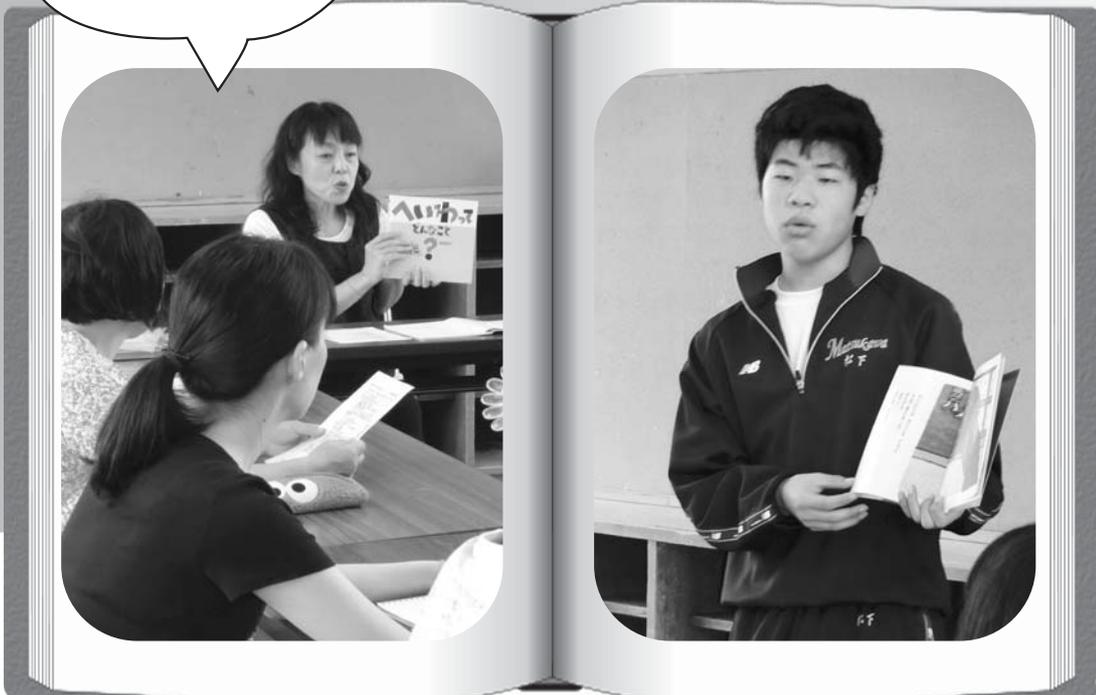
## 塩ピ管尺八にチャレンジ



## 江戸木目込みを 知ろう



絵本の  
よみきかせ



1

# 体験

公民館では、来年秋に完成  
の方々が集い、学んでほしいと  
じめ多くの世代にわたって  
いと願っています。そんな  
を企画しました。

8月22日(土)・23日(日)  
13日(日)にも「俳句でいき  
れ、のべ50名近い方々が体  
ということで、その後自主的  
公民館では、これからも1  
動したり学習したいことが  
でお問い合わせください。



# 中学生が 公民館で職場体験

1日目の午前中は、中央公民館（旧北名子保育園）の大会議室や廊下の窓ふき、前庭の草取りをしました。午後は、8月2日に行

う地域を知る講座第2回『満蒙開拓と国際平和』の資料作りをしました。参加された方が満蒙開拓について、より理解いただけるように満蒙開拓平和祈念館を見学して学習したことを、3人で協力してまとめました。2日目は、地域を知る講座の会場づくり、受付、写真撮影等お手伝いをしました。資料を見た参加者から「大事なポイントがまとめられ、考えも素直に書かれていてよい」というお褒めの声もいただきました。3日目は、人形劇場の準備、片づけ等を本館社会部員と一緒にしました。3日間の体験を通して、公民館の果たす役割に触れることができたようです。また、公民館で大事にしている「人と人とのふれあい」について

考えられたりしたようです。今回の体験を契機に、これまで以上に公民館活動に関心興味をもてるようになってもらえるといいなあと思います。

## 職場体験を体験して

切石 健一

今回、僕は松川町公民館で職場体験をさせていただきました。松川町公民館では、「地域を知る講座」などのイベントをはじめ、いろいろな仕事をさせていただきました。そのなかで最も印象に残ったことが二つありました。一つ目は公民館という所は休日や夜間でも関係なくやっているんだと思いました。二つ目はその大変な中でも職員さん達は疲れを見せずにキビキビと働いておられました。

またインタビューの時にも、よく受けて下さいました。貴重な体験が出来ました。



まとめた資料と中学生

## 職場体験を通して学んだこと

玉置妃夜里

今回公民館で職場体験をさせていただいて、改めてあいさつの大切さに気付くことができました。3日間の体験で地域の方と関わらせていただいた時に、ただあいさつをするだけでなく、それに加えて笑顔、だったり目を見たりと自分なりに心を込めてすることのみなさんと心がつながったように感じました。あいさつから人と人との出会いが始まり、初対面の人でも心を通わせることができることを学べたので、これからの生活にも活かしていこうと思います。

## 職場体験を通して

吉川 颯哉

今回、3日間公民館の職場体験をさせてもらい感じたことは、あたりまえのことだけど、大変な仕事だと思いました。夜中までの講演会、子ども達が楽しめるよう人形劇を開いたりしました。それは、どれも町の人達のためを思っ

「みなさん、こんにちはーっ」元気な声であいさつしてくれたのは、町の人形劇ではスツカリおなじみになった「人形劇団ばんび」のお二人。

ばんびの人形劇は、誰でも知っているお話しと、創作劇の二本立てで、小さな子ども達でも理解しやすくしてくれてあります。

毎日、気温30度以上の猛暑日がつづくなか190名の家族連れが参加してくださりました。

一話目は「こぶとりじいさん」

正直なおじいさんは鬼に気に入られ頬のコブを取ってもらい、意地悪でケチな隣のおじいさんは、そのコブを付けられ頬に2つに…。

みなさんよくご存じのお話しも最後は、二人で仲良く暮らしていくという優しい話が、さすがバンビでした。



人形を操る「ばんび」のお二人

## “人形劇がやってくる”

# 一大事やどざる!

～姫様のお大事なお話し～

平成27年8月9日  
町民体育館  
トレーニングルーム

「一大事でございます！」

このお話しは父の城主が留守をした日、大変な問題に直面したお姫様の話し。

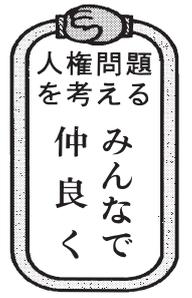
のんびり屋のお姫様と、何でも一大事大事と大騒ぎなじいやの二人

は、国境まで来ている隣国の兵士を見つめます。その国境はとても美味しいタケノコが出る所としても知られていて、隣国でもどうしても手に入れないのです。

そこでお姫様、戦争をするのではなく綱引きで勝負をつけようと提案し見事に解決！身近にも南信濃と水窪の国盗り綱引合戦が有りますが、日本も世界も仲良く平和になるとイイですね。



人形にさわらせてもらいました



中央小学校

### なかよし4年1組

中央小4年 多々羅 彩香

私のクラス4年1組は、けんかもしませんが、とてもなかよしです。私は女子とはほとんどけんかをしません、男子とはたまにけんかをします。私が男子とけんかをする、友達と味方をしてくれるので、私も友達と味方します。

だから、女子は女子の味方をして、男子は男子の味方をするのかと勝手に思い込んでいました。でも、ある日そうではないことに気がつきました。

その日は、私が男子とけんかをしていた時に、ほかの男子が、

「どうしたの？」

と言ってきたので、どうしてけんかをしていたのか理由を言ったら、

「それはそっちが悪いんじゃないの？」

と私の味方をしてくれたのです。私はまさか、男子が自分の味方してくれるとは思わ

なかったもので、とてもびっくりしたし、ちょっとうれしかったです。

そこから私は、男子ともつとなかがよくなりました。そうは言っても、やはりけんかはします。でも、3年生のころよりも男子も女子もとてもなかがよくて、だれとでもしゃべり合うことができます。

私たちのクラス、4年1組は、元気で明るくて、そしてとてもなかがいいです。学校は勉強をする所ですが、いろいろな友達と楽しくしゃべれて、友達ともつとなかがよくなる楽しい所です。

### なかよし4年3組

中央小4年 大原 冬葉

わたしたち、4年3組は、クラスみんなが友だちです。クラスの中で友だちがいない人は一人もいません。時には、けんかもありますが、学級会を開いて時間はかかりますが、みんなの問題として、解決しています。

学級会以外にも、クラスでは、みんなが仲よくなるために、「みんな遊び」と「あいさつタッチ」をしています。

みんな遊びは、木曜日の休み時間にごっこ、じゃんけん島、イストリゲームなどをクラスで決めて、全員で遊びます。とても楽しいです。

あいさつタッチは、帰りのあいさつをした後、教室に一列にならんで、相手の目を見て、「さようなら」と言いタッチをして帰ります。ちょっとうれしい気持ちになります。

このように、いろんなことをしていますが、私は、このクラスの良いところは、やさしいことだと思います。もし、悲しんでいる人や泣いている人がいると、先生が言っていないけれど、声をかけてあげ

る人がたくさんいます。そうすると、その泣いていた人と声をかけてあげた人が友だちになることがたくさんあります。人が悲しんでいる時に、いつしよにいてあげるとは、とても大切だし、その人の気持ちを考えて動くことは、友だちとなかよくなるためには、大事です。

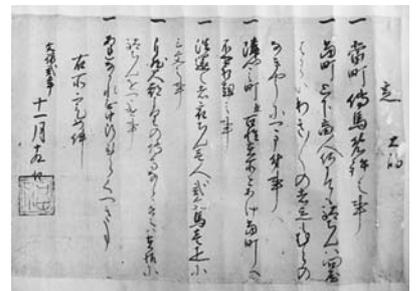
私は、これからも、こまっ

## 松川町指定文化財 第4回

10月に開催されます企画展「みんなの宝」松川町の文化財の際に展示する、有形文化財「典籍の「京極高知伝馬条規」を紹介します。

伊那街道は古くから伊那谷の一大主要道路です。戦国時代末期、武田氏の伊那谷統治時代には既に宿駅制が設けられていました。「伝馬とは」幕府の公用をこなすために宿駅（街道沿いの集落で、旅人を泊めたり、荷物を運ぶための人や馬を集めておいた宿場のこと）で馬を乗り継ぐ、その馬のことをいいます。

京極高知が飯田在城の際に、飯田・飯島（本郷）間の道路を約一里、西の山手へ移し、同時に町を移転させました。この一大工事は文禄二年（1593）に完成、市田・大島・片桐・飯島などに伝馬町を設けて宿駅とし、伝馬条目を定めました。京極高知の「定書」（伝馬条規は各宿駅に与えられ、そのほとんどが保存されています。ここ松川町の大島宿



京極高知の伝馬条規

宛の定書が町の指定文化財に指定されています。

六項目からなる定書は、  
一、ここ大島町に伝馬の免許を与えること

一、大島町の上下何れにおいても駄賃は問屋が計らうこと、脇々の者までムラのないようにすること

一、近隣の百姓が在所を開けてこの町へ越してきてはいけないこと

一、通行する者の駄賃は一人二文、馬一匹三文とすること

一、中央からの伝馬の要請があった時は、それべしの駄賃をつかわすべきこと

一、荒廃地や水害のため荒地になつていたりところは油断なく開墾をして耕地にする

文禄二年11月19日に、京極高知の黒印が押されています。

今から422年前の貴重な実物資

料を10月に是非ご覧ください。  
松川町資料館 宮崎



大島宿の大島端の通庵



# なまはき今

## 自然を感じ自然を楽しむ

### ―上片桐自然友の会―

上片桐自然友の会は、2006年に環境問題や上片桐地区だけでなく、伊那谷の地形や動植物という自然を知り交流をしていこうということ



発足され、27名で活動中です。今回は、会長の米山義盛さんからお話しを伺ってきました。主な活動として、2月には冬の動物の足跡の観察会。この活動中には、カモシカなどいろいろな動物にも会うことができ、知らないだけで様々な動物が生息しているようです。5月には採鳥会。専門家の方を呼び、鳥の声を聞きどんな鳥がいるか観察します。声だけでどんな鳥がいるかを判断するのはなかなか難しいようです。

9月にはお月見会。他にも学習会、町の文化展の出展、菖蒲園・関谷原堤の除草作業を

行っています。

今年6月の学習会では、公民館主催の「地域を知る講座 in 天竜川」に自然友の会で参加しました。この時は、松川町天然記念物ツツザキヤマジノギクの観察をしました。この花は開花するまでに2年かかるということ、今では絶滅危惧種になっています。上片桐地区にも昔、鶴部の旧楽園アルプス付近にもあり今でもあるかもしれないということ、発見し保存したいという気持ちでいっばいようです。こういう上片桐地区にとどまらない活動も行われています。

今後の自然友の会の活動として、「育成会や会員の皆さんと話し合いをし、意見を聞き

ながら子どもたちとの活動を増やしていきたい」と話されていました。他には小八郎登山や里山に足を踏み入れて親しみやすくなる活動（山菜採りやキノコ採り）なども行っていき、少しでも活動を増やし、交流も増やすことで楽しめる会にしていきたいそうです。

現在、上片桐地区に在住する住民で構成されていますが、地区外からも人員を募集していけたらと考えているそうです。いろいろな活動があり今後発展していく会なので、自然や動植物に興味がある方はぜひ入会をお待ちしています、とのことでした。

連絡先等のお問い合わせは、中央公民館までお願いいたします。

# すぽっと

## 楽しかった ファミリーハイキングの思い出

8月22日に、旧東小学校を目的地としたファミリーハイキングがありました。昨年までは、松川町の小八郎岳や中川村の陣馬形山への登山で、ファミリー登山という名前で開催されていましたが、今回は旧東小学校まで歩くということで、ファミリーハイキングという名前に変更して開催されました。

午前9時に公民館へ集合し出発地点である農協生田支所に向かいました。生田支所でスト

レッチを行い、さつそく出発です。早朝は曇りでしたが、出発の頃には強い日差しがまぶしくて、目を細めるほど、良い天気になっていました。

往きは坂をとにかく登り、帰りは坂をとにかく下るというコースでした。風が気持ちよかったです。景色や会話を楽しみなが歩きましたが、出発して10分後、高い気温と急な坂のせいもあり、

「そろそろ休憩かな？」という冗談も飛び交い始めま

した。

1時間ほどで最初の休憩場所の会所に到着しました。普段歩いたことがない道だったので少し長く感じました。それから、森と森の間から松川町や高森町が見え、ねずみ尾という珍しい地名の看板があり、歩かないと分からないような発見ができて良かったです。

目的地の旧東小学校では、五本松という、松が5本植えてあるところで昼食を食べました。すべり台の上で見張りをしながら昼食をとる部員も……。

昼食後、旧東小学校の中を見学しました。備品などが残っ



ていて、出身校ではないのに、少し懐かしい気がしました。暑いなかのハイキングでしたが、楽しく健康的に歩けました。

# 短歌

孟蘭盆

田村 三好 (宮本)

迎え火を焚きたる宵の門口に  
亡夫の気配を幽かに感ず

盆棚を囲む白百合おみなえし  
あなたが植えし花ばかりなり

利き腕の傷もふさがりばちばち  
と酒売りいるを告げて香焚く

還るとも幻ならん孟蘭盆の陽  
にひとときを燃ゆる鬼灯

朝顔の名は「臻しん之介のすけ」愛しみの  
藍深めつつ朝ごとに咲く

# 川柳

中島 保子 (宮坂)

お手玉や

色紙折って脳活を

我れ友も

共に背中が丸くなり

老二人

用も会話も無く二人

女子会に

婆も女子だと誘われる

物忘れ

認知じゃないよ度忘れだ



# 今月の公民館

解体が進み、もう少しで建物が取り除かれます。



## 主張 大人になった“今”



成人式実行委員長 杉山さん

戦後70年の節目となる終戦記念日に、松川町の成人式が行われました。戦没者の方々、亡くなった二人の友へ黙とうを捧げ、厳肅かつ、和やかな

秀囲気の中で無事式を終える事ができました。今年には戦後70年という事もあり、この夏は戦争について新聞やテレビなどで様々な情報が流れていました。私の母方の祖父の兄二人は軍隊に入り戦地で亡くなり、父方の祖父は開拓団として満州へ渡っており、身内も戦争を体験しています。にもかかわらず、祖父達から体験談を殆ど聞いた事がありません。中学時代、戦争について学び、

広島原爆ドームを見学した事は記憶に新しいですが、実は分かっていない事はほんの少しで、知らない事が大半です。戦争体験者は祖父達の様に高齢化しています。又、国会では安全保障関連法案について審議されており、法案が成立されれば平和主義を貫いてきた日本がどう変わっていくのか不安を覚えます。まず思うことは、戦争をしてきた時代を生きてきた人達がいるから現代を生きる私達が平和で暮らせる事を知らなければいけません。又、今の便利で満ち足りた生活が当たり前にできる事に感謝し、戦争が昔にあった遠い存在のモノにしない様にするために、大人として知識を深め、よく考え語り継いでいく責任があると思います。私は4月より町の保育士として務めさせて頂いています。まだまだ未熟で時間に追われる毎日ですが、先輩保育士の方々や保護者の方の力をお借りしながら日々学んでいます。その中で子ども達の笑顔に触れ、日々いくつもの感動の場面に出会える事にとっても喜びを感じております。これからの目の前にいる一人ひとりの

子ども達に寄り添いながら、「今」を大切に過ごしていきたいと思えます。最後にありますが、「私」という存在を作ってくれた両親、家族、恩師の方々、地域の皆様に感謝し、自然豊かで人の温かさを感じる松川町へ恩返しできるように努力したいと思えます。

成人式実行委員長  
杉山 恵菜



初の試み、インタビュー形式



久しぶりに仲間たちと

## ◎2015年

猛暑だった夏もだんだん涼しくなり秋らしくなってきましたが、私が果物の中で一番好きな桃のシーズンも終わってしまいました。1日1日でやわらかくなっていってしまう桃は短い命。暑い夏は長く感じても、桃の時期はあっという間だった。バキバキと言って食べるくらい硬い桃が好きで、そのことを知っている松川の友人が硬い桃を届けてくれて甘くてとても美味しかったです。あるキャンペーンで当たった川中島白桃が8月末に送られてきたが、大きすぎてきれいな色だったけれど、食べ頃を送ってくれるので硬くはなかつたけれど、甘さが少し足りないように感じた。友人からいただいた桃の方が甘く美味しくて、有名な所に松川の桃も負けてないと思った。硬いと言えば、「えー」と思われるかもしれないが、フランスやルクセンブルグなど洋梨も硬いうちに食べるのが好きで、硬い時の甘さや美味しさがあるのです。余談ですが、パイナップルの芯の部分も好きだと言うと驚かれることもある。捨ててしまうなんてもったいない。一度食べてみて下さいと言いたい。県外の人はもちろん近隣市町村の人からも松川の果物は美味しいといってもらえると、自分の家で果樹栽培をしているわけではないけれど、誇らしくうれしくなってしまう。これから、くだもの里松川の名の通り、果物本番の時期になり、今年も美味しい梨やりんごなどいただけるのを楽しみにしている。(宮崎亜希子)

公民館報  
「まつかわ」  
第 623 号  
平成27年 9月15日  
発行所 松川町公民館 登部  
責任者 矢 澤 編集部  
編集人 公民館編集部  
Tel 36-2633  
e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp  
飯田市上郷黒田121  
印刷所 龍共印刷(株)